

実施計画詳細

事業名：令和元年度若年技能者人材育成支援等事業

提出者：奈良県職業能力開発協会

(地域における技能振興事業)

区 分	事 項
① 技能五輪全国大会の予選の実施等	<p>ア 技能五輪全国大会の予選の実施</p> <p>造園職種 令和元年度予選 令和元年5月 22名 日本料理職種 令和元年度予選 令和元年5月 8名 美容職種 令和2年度予選 令和2年2月 20名 和裁職種 令和2年度予選 令和2年1月 8名</p> <p>イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施</p> <p>若年者ものづくり競技大会 福岡県（7月31日～8月1日） ホットリガ組込み・造園職種 選手6名（2チーム×2名・2名）、 指導者3名</p> <p>技能五輪全国大会 愛知県（11月15日～11月18日） 美容・造園・和裁・日本料理職種 選手9名、指導者6名</p>
② ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組	<p>ア ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用</p> <p>(ア) イベントの実施</p> <p>・ものづくり体験コーナー</p> <p>製作実演(ステージ)及びブースにおける製作実演やものづくり体験教室の実施(奈良技能フェスティバルと同時開催)</p> <p>日 程：令和元年11月24日</p> <p>会 場：橿原公苑</p> <p>集客予定人数：5000名(予定)</p> <p>実施する内容：フラワー装飾、広告美術、建具製作等の製作実演(ステージ)3団体、ブースにおける製作実演3団体、ものづくり体験教室の実施13団体(IT関連団体を含む)</p> <p>・地方公共団体及び各種学校でのものづくり製作実演及びものづくり体験教室</p> <p>開催時期：10月</p> <p>回 数：年1回</p> <p>集客予定人数：150名(予定)</p>

区 分	事 項
	<p>実施する内容：ものづくり体験教室の実施5団体（IT 関連団体を含む）</p> <p>(イ) ものづくりマイスター以外の熟練技能者の派遣 若年技能者等に対する実技指導の実施</p> <p>企業・団体 企業・団体数：1社 回数：1回（3時間） 熟練技能者等活動数：1回 受講者目標数：延べ40名 職種：フラワー装飾等</p> <p>高等学校 学校数：延べ5校 回数：10回（各回3時間） 熟練技能者等活動数：50回 受講者目標数：延べ700名 職種：溶接、フラワー装飾、菓子製造等</p> <p>イ 技能競技大会展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、センター、幹事県を始め、会場設営を含むことについて各コーナーと協力して取り組む。</p> <p>ウ 技能士展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、センター、幹事県を始め、会場設営を含むことについて各コーナーと協力して取り組む。</p> <p>エ 「地域発！いいもの」応援事業の実施 会員企業、団体、各種学校訪問時あるいは技能を伝えるイベント開催時に各団体に広報して認識して頂くとともに、県内ローカルニュース・新聞紙上に目を配り「地域発！いいもの」に該当するような事例が有れば応募して頂くよう勧奨する。</p> <p>オ グッドスキルマーク事業の実施 業界団体、各種学校訪問時あるいは技能を伝えるイベント開</p>

区 分	事 項
	<p>催時に各団体に紹介し周知する。また、技能関係組合の総会等において技能検定と共にこのような制度のあることを広報させてもらい、応募して頂くよう勧奨する。</p> <p>カ 卓越した技能者（現在の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援</p>

（ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務）

区 分	事 項
<p>① ものづくりマイスター等の開拓・説明・申請書類等のとりまとめ</p>	<p>ものづくりマイスター等の開拓</p> <p>通年で幅広い職種のものづくりマイスターおよびITマスター・テックマスターの認定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりマイスター、IT マスター及びテックマスターの開拓について、通年で幅広い職種のものづくりマイスター、ITマスター及びテックマスターの認定を行う。 ・ニーズが有るにもかかわらずものづくりマイスターが不足している職種については、技能検定受検企業リストから、マイスターが不足している職種の合格者を多く輩出している企業を訪問し、現社員や退職された熟練技能者に対しマイスター制度への登録を勧奨していただくよう理解と協力を求める。 ・IT マスターについては情報処理技術者がいると思われる企業を訪問し、現社員や退職社員に登録への勧奨をして頂くよう理解と協力を求める。 ・テックマスターについては、既存のものづくりマイスターの方でこのような経験や能力をもっておられる方をこれまでの依頼内容から洗い出し登録して頂くよう勧奨する、また、ものづくりマイスターを多く輩出している企業に新たに該当する方がおられるか問い合わせを協力を求める。 ・企業、業界団体への訪問等の頻度については、担当者1名が毎月4日程度訪問する。また、ものづくりマイスター等の開拓以外でも、企業・業界団体訪問時には、マイスター制度の理解、協力を求める。 <p>ものづくりマイスター認定数：10名 IT マスター認定数：2名</p>

区 分	事 項
② ものづくりマイスター等に対する研修	<p>開催時期：10月、2月</p> <p>実施頻度：年2回</p> <p>参加者延べ人数：20名</p> <p>未受講者に対しては、開催毎に呼びかけをする。また、未受講者が出席しやすい曜日で開催日程を考え実施する。</p> <p>また、過去3年間に一度も活動実績がないものづくりマイスターに対しては、リストアップを実施のうえ、所属企業・本人に対して電話、訪問の上、引き続き活動する意志があるのか12月を目処に確認する。</p>

(ものづくりマイスター等の活用に係る業務)

区 分	事 項
① 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	<p>コーナーにおける相談・援助</p> <p>ものづくりマイスター及びITマスターの効果的な派遣に向けた、要請のあった企業、学校等からより具体的なニーズを引き出すための相談・援助の体制について</p> <p>企業については、技能検定2級の課題を示しながら取得をめざした講習を提案する。</p> <p>また、生産性・品質向上、人材育成方法の指導、労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた助言を実技以外の指導として提案していきたいと考えている。</p> <p>学校については、技能検定2、3級の課題を学校カリキュラムのなかでもしくは選択授業、クラブ活動で取り入れてもらえないかより具体的に呈示し、併せて技能検定の受検勧奨もおこなう。</p> <p>ITマスターの学校への派遣のため、教育関係機関等への働きかけなどの程度：</p> <p>ITマスターの派遣ニーズがあると思われる情報工学科等を中心にその存在をアピールし学校側のニーズと照らし合わせながら広報を重点的に実施する。</p>
② ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	<p>ア 中小企業・業界団体に対する実技指導</p> <p>各団体、組合を通じ広報を行い、重点的に実施する。これらの各団体、組合に対してはITマスターの派遣のニーズが高い企業の情報を提供して貰う。また、関連企業を通じてのその成果を広報して頂き広げていく。</p>

区 分	事 項
	<p>他に企業に対して、技能についてのニーズを聞き実技指導を実施に向け訪問、連絡を重ねていく。</p> <p>中小企業・業界団体に対する実技指導 120日 企業・業界団体数：10社 650人日（目標） 職種：機械加工、電気溶接、工場板金、塗装、畳製作、菓子製造等</p> <p>イ 工業高校等学校に対する実技指導 技能検定習得に向けた実技指導を重点的に実施する。</p> <p>工業高校等学校に対する実技指導 100日 工業高校等学校数：6校（25科）750人日（目標） 職種：機械加工、機械保全、機械検査、鋳造、電子機器組立て、建築大工等の技能検定課題を用いて実施する。</p> <p>指導内容等 ものづくりマイスター及びITマスターが記録した実技指導の記録を用い、企業担当者、学校担当者に、技能レベルの到達度の評価、今後の課題、実技指導の上でマイスターがほめていた点などを伝える。特に、企業の実技指導はどの技能が足りないのかなどがわかり、今後の実技指導を考慮される上で参考になる。</p>
③ 「目指せマイスター」プロジェクト	<p>ア 「ものづくりの魅力」発信 県教育委員会を通じて募集を行う等、県教員委員会と連携を取りながら実施する。</p> <p>(ア) 学校の授業等への講師派遣（児童・生徒を対象とする） 小中学校に対し、ものづくりマイスターによる全体講演、製作実演及び希望職種に分かれてのものづくり体験教室を実施。小学校は、5・6年生、中学校では、1・2年生を中心に実施する。</p> <p>(1) 小中学校等への派遣日数 15日 ものづくりマイスター派遣者数：30名（15日×2名）</p> <p>(2) 効果的にものづくりの魅力を伝えるための取組</p>

区 分	事 項
	<p>ものづくりマイスターによる全体講演および製作実演を実施。その後あらかじめ調査した希望職種（1 職種 20 人前後）に分かれてのものづくり体験教室を実施。小学校は、5・6年生、中学校では、1・2年生を中心に実施する。</p> <p>(3) 小中学校等におけるものづくりマイスターの活動数 500人日</p> <p>職種：和裁（箸袋製作）、建築板金（ネームプレート製作）、洋菓子製造（ケーキ製作）、表装（障子貼り）、広告美術（カッティングシート貼り）、ガラス施工（万華鏡製作）、建具製作（写真立て製作）、塗装（ウェルカムボード製作）</p> <p>(イ) ものづくりマイスターによる講義を伴う児童・生徒を対象とした事業所等見学の実施</p> <p>小中学校に対し、バスを使用し事業所等を見学する。</p> <p>学校数：3校</p> <p>講師：ものづくりマイスター3名</p> <p>(ウ) 学校の教師、児童・生徒の保護者等を対象とした「ものづくりの魅力」講座等への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(ア)・(イ)を実施する学校の教師を対象に事前にもものづくりマイスターによる製作実演やものづくり体験と講義を実施する。 <p>学校数：5校</p> <p>回数：5回（各校1時間）</p> <p>ものづくりマイスター派遣者数：5名</p> <p>職種：ものづくりマイスターによる全体講演・製作実演、ものづくり体験教室を行う職種を体験して頂く。</p> <p>また、(ア)を実施する学校の保護者を対象に参加をよびかける。</p> <p>学校数：5校</p> <p>受講者人数：30名</p> <p>ものづくりマイスター派遣数：5名</p> <p>イ 「ITの魅力」発信</p> <p>学校の授業等への講師派遣（児童・生徒を対象とする）の一</p>

区 分	事 項
	<p>職種として派遣する。小中学校等において学校にあるパソコンを利用して身近な素材を利用して講義と実習を織り交ぜた講習や小学校においてロボットを使った授業を展開する。</p> <p>実施目標学校数：2校 [ア(ア)との同時開催] 受講者人数：40名 IT マスター活動数（人日）：40人日（2校×20名）</p> <p>ウ その他若者に対する「ものづくりの魅力」発信 地域若者サポートステーションからの要請に応じて製作実演及びものづくり体験を実施する。 対象者：地域若者サポートステーション利用者 実施回数：2回 講師：ものづくりマイスター2名 受講者人数：20名予定</p> <p>エ ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習の実施要請 ものづくりマイスターへ職場体験実習の実施を依頼し行う。 対象者：県内小中学生及び工業高校等の生徒及び若年求職 ものづくりマイスター活動日数：10名×4日＝40日 活動数（人日）：120人日（受講者3名×40日）</p>

（地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営）

区 分	事 項
<p>連携会議の設置・運営</p>	<p>連携会議を設置し、奈良県技能振興コーナーが事務局となり運営 構成員：奈良県中小企業団体中央会、一般社団法人奈良経済産業 協会、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、 日本労働組合総連合会・奈良県連合会、独立行政法人高 齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部、奈良県産業・ 雇用振興部雇用政策課、奈良県教育委員会事務局学校教 育課、奈良県工業教育研究会、奈良労働局職業安定部地 方訓練受講者支援室、奈良県技能士会連合会</p> <p>開催回数：2回 第1回目：令和元年6月中旬：本年度の推進計画の決定 第2回目：令和元年12月上旬～中旬：本年度の実施状況等を 踏まえた事業の総括、次年度推進計画案の策定</p>